

会 議 録	
会 議 名	令和5年度第3回丸亀市部活動地域移行等検討委員会
開 催 日 時	令和6年2月20日(火) 午前10時～11時00分
開 催 場 所	丸亀市役所 3F 302会議室
出 席 者	出席委員： 岩根 誠・漆原 光徳・大西 賢志・香川 真美・小糸 太一 齊藤 栄嗣・高井 真治・近澤 裕明・徳永 博保・西川 昌宏・前谷 智仁・山本 博美(50音順・敬称略) 傍聴人： なし 事務局： 末澤教育長・窪田教育部長・林 裕司産業文化部 部長・田中 壽紀市民生活部 部長・岩井学校教育課長・村尾まなび文化課長・奥田スポーツ推進課長・御厨学校教育課主任指導主事・林まなび文化課副課長・野本スポーツ推進課副課長・遠藤学校教育課指導主事・立石学校教育課指導主事・多田市文化協会事務局員・坂田スポーツ推進課担当長・石川文化課
次 第	次 第 1 学校教育課の取組みについて 2 スポーツ推進課の取組みについて 3 文化課の取組みについて 4 令和6年度 本市の方向性について 5 その他
議事の経過 及び発言要旨	1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 議事 4. 閉会
事務局	お待たせいたしました。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。教育部長と市民生活部長、産業文化部長の会議に出ておりますので、途中での参加になります。 それではただいまから令和5年度第3回丸亀市部活動地域移行検討委員会を開催いたします。本日の会議は、お手元に配布しております資料に沿って進めて参りますのでよろしくお願いいたします。初めに、末澤教育長よりご挨拶申し上げます。
教育長	皆さんおはようございます。第3回の検討委員会、大変ご多用の中、お集まりいただきましてありがとうございます。また日頃は、いろいろとご審議、ご協力を賜りましてありがとうございます。今年度、新型コロナが5月に5類への移行がありました。学校現場では、いろんな活動や行事の制限が行われてきて、今何が楽しいのかって考えたときに、人との関わりや触れ合いの中に、子供たちは、楽しさを感じているのではないかなと思っております。当然、嬉しさ喜びだけではなく、悔しさや辛さもありますけれども、そういう中で子供たちが育っていると、成長していると感じております。 部活動も人との関わりの中で自分を成長させる機会でございます。3つの方針の中に、生徒にとっての有意義な場であるとか、教員の働き方改革とかいろいろありますけれども、やっぱりその1つは人との関わることも大切にされていると思っておりますし、それは生徒にとっても、保護者にとっても、地域にとっても、子供に関わる方すべてにとっての願いであると感じております。 先日、教育委員会の表彰がありまして、多くの子供たちが表彰を受けました。

	<p>ありがたいなと思いました。一方、表彰をうける子供たちの所属を見ますと、学校だけではなくて、クラブチームからってというのはたくさんありまして、私はそれを見ながら、今の、そしてこれからの子供たちの取り巻く状況をしっかり見据えて考えていかなければならないなと思った次第でございます。今日は、5年度の取り組み、また6年度に向けての方向性について、説明をさせていただきますが、ぜひ委員の皆様には、それを申し上げます。以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、ただ今から議事に入ります。議長は、漆原委員長にお願いしたいと思います。漆原委員長お願いいたします。</p>
議長	<p>それでは早速議事に入らせていただきます。お手元の次第に従いましてまずは議事の1です。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《議事1について、資料1、2に沿って説明 事務局：立石》</p>
議長	<p>ただいまご説明いただきましたけれども何かご質問ありましたらお願いいたします。</p> <p>ご質問もないようですので、続きまして議事の2です。スポーツ推進課につきまして、事務局の方からご説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>《議事2について、資料3、4に沿って説明 事務局：奥田》</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいまスポーツ推進課から説明いただきましたが何かご質問ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>特にご質問ないので、2は以上にさせていただきたいと思います。それでは続きまして議事の3に移らせていただきます。文化課の取り組みにつきまして、事務局の方からご説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>《議事3について、資料5、6に沿って説明 事務局：石川》</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいまご説明いただきましたが何かご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>ではご質問もないようですので、続きまして議事の4です。令和6年度本市の方向性についてということで、事務局の方からお願いいたします。</p>
事務局	<p>《議事4について説明 事務局：御厨》</p>
議長	<p>令和6年度の方向性ということでご説明いただきましたけれども、委員の皆様からのご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>スポーツ少年団の指導者からご意見がありまして、教育委員会にお願いがございまして、小学校の話になりますが、スポーツ少年団も少子化を受けまして、大分団員数が少なくなっており、チラシとか製作して団員を増やすよう取り組みを行っている状況です。しかし、何校かの小学校で、製作したチラシを生徒さんの方に、お配りして欲しいっていうことを先生に言ったときに配れないと言われると聞きました。</p>

	<p>地域移行でスポーツ少年団の指導者もこういう場が上がっていくのであれば、学校とスポーツ少年団の指導者との溝が極力小さい方が円滑に移行できると考えます。団の方も一生懸命、競技人口を増やしていこうとしている中ですので、ぜひ教育委員会の方からも働きかけしていただきまして、協力いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか事務局の方から何かコメントありましたらお願いします。</p>
学校教育課 岩井課長	<p>ご意見ありがとうございます。地域移行にも関わる大変大切なポイントではないかと思っておりますので、今後、小中学校長と協議いたしまして、検討して参りたいと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>スポーツ少年団の指導者の方々には、学校部活動の地域移行についての興味関心が非常に高いというところがあります。状況的には、学校部活動を学校教育の一環として、指導者は、香川県の人材バンクから提供していただくという形で考えていくということでしょうか。スポーツ少年団の代表の方からは、もうすでに土曜日、日曜日の活動に関して、中学校の保護者会から面倒を見てもらえないかという話があって、すでに取り組んでいるという話もありました。教育委員会としてはそういう形でもOKなのか。それとも丸亀市の学校部活動のやり方を徹底していくのか、そのあたりはどうなのかと思います。</p> <p>ただ問題になるのは指導者としての資格的なところ。丸亀市としては県の人材バンクの指導者の要件にお任せするというような形だろうと思いますが、それだけで徹底していけるものでもない気がします。学校部活動を今後、学校教育の一環と考えていくのか、或いは社会教育の中にも含めていくのかの判断も必要になってくると思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>指導者の資格としては、資料2のとおり学校での指導経験があるとか、またスポーツ団体競技の資格を持っているか、持っていない方は取ってもらうということにしております。</p> <p>学校も保護者も安心して子供たちが参加してもらえるような制度にして欲しいということがあるので、誰でもではなく、学校教育ということも理解していただいて、意欲的にやっていただければありがたいです。</p> <p>今年度も保護者や地域の人から紹介された方で、部活動指導員になった方も2例ぐらいありました。また、外部指導員で手伝いに行くと言っていただける人もいますので、また来年度はそんな方が増えてくれたらと思います。やはり丁寧に慎重にやっていく中で、一番子供が安心して参加できる形になればと思いますので、また来年度そのようなことも含めて、いろいろ考えていこうと思います。</p>
委員	<p>保護者の方から面倒見て欲しいというような話があった中で、土曜日、日曜日の面倒見るというときに、学校部活動というところを離れての話なのか、それも学校活動の一環としての有意義な取り組みとして理解していいのかどうかというところだと思います。そういう問題もこれから出てくる可能性はあると思うので、どう棲み分けするのかも考えておかなければならないと思います。基本的には、土曜日、日曜日でも学校部活動としてとらえているわけですね。</p>

事務局	ガイドラインでいくと学校部活動として活動したということです。
教育長	<p>部活動の地域移行の本質的なところだと思っております。現状とこちらがお伝えをしていることとのスケジュール感とかスピード感が少し違うと感じました。多分、国がイメージしているのは、社会教育も含めてのことだと思っておりますが、今こちらで募集要項等を示している部活動指導員というのは、あくまでも学校教育の一環としていきますので、今後の大事なところをお示ししていただいたなと思います。</p> <p>一方、保護者の思いとしては外部の方に頼んでという気持ちと、これまで学校の先生に担っていただいたところに、いろんな方が入ってきたらどうなのかという心配なところがあると思います。いろんな方がいらっしゃるので、丁寧にしていくことが必要と思う。</p>
議長	ありがとうございます。いかがでしょうか。今の点に関してでも、その他の点でもご意見いただければと思いますが、教育現場の先生はいかがですか。
委員	中学校での土日の練習ですが、大会等があったときには土日に活動させていただきまして、平日の休養日の1日とは別にもう1日休日を取るという形にしております。子供たちが、オーバーワークでけがをすることがないように配慮しております。中には練習させてほしいというのもあるが、体のメンテも必要と思っております。また、お力をお借りできたらと思いますのでよろしくお願いします。
議長	ありがとうございます。他にご意見ございましたら、いただければと思います。
委員	<p>文化協会ですが、この文化部門全体では大きく分けて展示の部門と見せる、演じる部門に分かれます。展示の方については、地域移行に実に近い状況に、すでに進んでいるような部活動も若干はあります。例えば外部のお茶の先生が、中学校にお邪魔をして教えていらっしゃるというところもあると思います。絵画とかもそうですけど、展示の部門は、場所が学校単位でやっていたものが、場所が変わったり持ち回りになったりということでも、対応していける可能性は垣間見えます。それとすでに関わられている方がいるので、学校部活動の現状把握が完了できてないにしても、ある程度掴みどころがあるというところではあります。</p> <p>一方で、演じる部門の合唱、演劇、ブラスバンドなどについては、自分が部活動を中学でやっていたときは人数もすごくいて、中学校同士がしのぎ合い、すべてが練習っていうのを経験していて、週に2日休みがあるとか聞くと、そんなので部活ができるわけないと思う大人が一般団体の中でもたくさんいます。要は一般団体と実際の教育現場でやられている部活動とのギャップが、埋まっていないというのが非常にあります。</p> <p>そこで、部活動の現状を見学させていただいて、雰囲気を見みたり、簡単に生徒にヒアリングさせてもらったりするために、文化協会の立場として学校を訪問させていただくということは可能なのか。その時に顧問の先生にも今の環境や人数など伺うことを、せめて市内3校とかできないかと思っております。具体的に何をやるのかということも、机上の空論で終わってしまっているというのが現状だと思います。放送部とか放送機材がなければ練習できないので、学校単位での対応になるものもあると思うが、人数集めてやる特にブラスバンドや合唱は、現状把握をさせていただいて、その中でさらにアイデアを出してできないかと思う。</p>

	<p>このままだと学校はこう言っている、国はこう言っている、先生はこう思っている。でも現状は動かないというふうに多分なるのではないかなと思っています。</p>
議長	<p>いかがでしょうか教育委員会の方。現状についてそのことが難しいのかどうか。もしコメントいただけるのであれば、いただきたいと思ひます</p>
事務局	<p>そういった形で本当に広く活動現場を見ていただいて、子供たちを中心に考えたときに、子供がちょっとやってみようかなとか、ちょっと行ってみようかなというふうな感覚が広がっていくことがすごく大事だと思いますので、前向きにそういった方向性を議論して進めていけたらと思っています。とにかく地域移行が進むことで、子供は実際どうなのかっていうところにスポットを当てる必要がある。</p> <p>学校での部活動と社会教育での活動が両輪でいってしまっていて、親はやって欲しいと思っているけど、子供が悲鳴を上げているというようなことになってはいけませんので、やはり広く子供たちが何か居場所としてはあると思える取り組みは、ぜひ運動、文化も含めて、やっていく必要があると思ひております。</p>
議長	<p>実際、学校教育の現場でどのようなことが行われているのかなかなか分からないというのはあると思ひますので、文化協会やスポーツ協会等に実際の現場を見ていただくのは意味があるという気はいたします。いかがでしょうか。その点につきましてでも、他の点についても何かご意見ございましたらいただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>今、市の教育文化祭という形で、アイレックスで年に1回、中学校の合唱と吹奏楽の発表会を行っている。昔のような、ものすごい人数がいるわけじゃなくて、学校によっては人数の少ない部もある。本校の吹奏楽だったらある程度人数はいて、パート練習で校舎の段階などにわかるので教員の目がなかなか届かない。</p> <p>本校でも外部の方に年に何回かレッスンをしていただいたており、実際に現場を見ていただいている。先生からも何が困っていて、どんな補助をして欲しいのかっていう生の声をぜひ聞いていただいて、それだったら、こういうことをしていただければ、ありがたいと思う。比較的音楽の方は、専門の先生が見るのが原則とはなっていますが、それでも経験の差などもございますので、私個人としては実際に子供たちの様子を見ていただいて、その上でご支援ご協力いただいたら、教員の方も今日は文化協会の方が来て指導してくださっていると安心してお任せできるし、子供たちの方も新たな人間関係として、そういう指導者の方とも出会いがあることは、中学生にとっての貴重な経験であろうかと思ひます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
教育長	<p>近澤委員のご意見は非常にありがたいと思ひます。地域との連携など、地域ぐるみで子供を育てていくということから考えたときに、地域部活動というのは非常に大きな取り組みの1つだと考えております。ぜひ、活動のみならず、垣根をもっと低くして、いろいろな方に学校に関わってもらって、子供たちと一緒に、同じ方向を向いて育てていただければありがたいです。</p>
議長	<p>ありがとうございます。PTAの代表の方もいらっしゃいますが、いかがでしょうか。</p>

委員	<p>保護者の立場から言うと、どうするかという方向性をはっきりと今よりもっと早く強く発信して欲しい。やっぱり少子化の問題が相当いろいろなところで影響していると思うので、合同部活っていうのをもっと推進していただければと思います。これは文化部でもスポーツの方でも同じだと思う。</p> <p>私の子供が吹奏楽部と野球で活動していて、吹奏楽の四国大会を見に行ったが、そんな少ない人数でやっている中学校はなかった。いろんな大会レギュレーションもあるでしょうけど、合同部活動を推進していただければと思うし、その方向性をもっとはっきり打ち出していきたいと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。県の委員会に出ていて、各市町の教育委員会の方々の意見で、非常に私が印象的だったのは、部活動がもう成り立たなくなっているという現場の声で、種目はどんどん減ってしまう。合同部活動であれば、まだ何校かで存続できるというかなり強い意見が多数出ていました。それを聞いて思ったのは、親の立場になると本当に子供がやりたいなら、住む場所を移動するのではないかという気がしました。そうでなくても少子化なのに、県内で近隣の市町と人口の取り合いみたいなことになることを、県のレベルでは心配だと申し上げました。実際にこの近隣でも野球やりたいから引っ越すというようなことは、複数聞いておりました、そのあたりも踏まえて全体的なところを見なくてはいけないのではないかというふうに、私自身は思っているところです。ですから学校格差、地域格差が出てしまって、丸亀市の教育体系の中では今後非常に大きな課題になってしまうのではと危惧しています。</p>
委員	<p>進学の話が出ていたが、運動部活動も文化部活動も中学生ぐらいのときの将来の進路に活動っていうのは大きいと思います。スポーツ少年団でサッカーの世話をしていたが、中学校から高等学校へ行くときに、全国大会に行きたいとなると県内の有力校や県外へ引っ越ししてでも行きたいとなる。文化部でも中学生時代に経験した子たちは高等学校になると、音楽の学科のあるところに進んでいくとか、やはり大きいきっかけになっていると思います。地域移行したときに、そういうことはすごく大事だろうと思うので、そのところも考えながら、地域移行を進めていかなければならないと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>合同部活動のことでいろいろ中体連の方で縛りがあるが、それも少しずつ全国的に緩やかになってきている。今後、中体連の方で何か情報ありますか。</p>
委員	<p>今のところはありません。やはり合同チームを作る際には、どちらか一方の学校が出場するのに人数が足りないというところという方向性にはなっていますが、地域移行などを考えると多少は方向性が変わってくる気はしていますが、今のところは現状のままです。</p>
委員	<p>これは文化の吹奏楽連盟も同じです。将来的にはという話は出てはいますが、現状合同チームで大会に出られるかっていうとNGという状態になっている。ただ、それでは駄目だからという話は議論に上がっている。合同チームを作る際には、勝利主義がやはり絡んできて、条件が完全に取られると難しい箇所もある。そのあたりも考慮しながらになってくるかと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。いかがでしょうか。そろそろまとめに入りたいと思いますが、全体通しまして何かご質問あるいはご意見ございましたら、いただきたいと思っています。</p>

委員	<p>P T Aの方で、もし何か気になることがあったら言っていただいたら。</p> <p>中学校の子供が運動部ですが、入っている部活は人数が今多いので、何か困ったという話を聞いたことはないが、高松市での大会に連れて行くなど、昔に比べて保護者の負担も多くなっていると感じている。難しいとは思いますが、バスを出すとかも検討していただけたらと思います。大会で勝ち上がって 1人 2人とかなったときに、他の学校はみんな来て応援もすごいけど、こちらは 1人 2人だけで差が激しくて、どうしても公平感というのもあったりするんで、バスを出していただいたらみんなが一緒に行けて、嬉しいなっていうのを子供たちは思っているのかなっていう感じです。</p>
議長	<p>ありがとうございます。香川委員さんに聞きたいのですが、今の 6 年生の子供たちの意識は、中学校に入ったら部活はやんなきゃいけないという意識ですか。</p>
委員	<p>少年団に入っている子は中学校でもやりたいけど、自分に合ったレベルじゃないと思ったら違うところに行ってしまうことが現状あるようです。中学校の子たちは、次いっぱい入ってくるかもと楽しみにしていたのが、残念なことになっている。意識としては、やはり中学校に入ったら部活をやるという感覚が子供たち全体の中に多い。</p>
議長	<p>ありがとうございます。かなり丸亀市の部活動加入率って全国に比べても高いので、地域としての意識はあるのかなっていうふうに思っているのですがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>何かに入りたいっていうのは、いろいろ考えている。</p>
議長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>うちにも中学生の子供がいますが、その活動をやってないと、高校進学の内申に響くからっていうのを一番口にしてます。趣味でやっているのは遊びと認知されて、高校進学に非常に響くから、うそでも良いから部活動に入っておかないと、正直に口に出るので、そういうのはうちだけが言っているってわけじゃないと思う。</p>
議長	<p>以前、保護者の代表の方から、もし学校教育から外れるのだったら部活なんてやらせませんよって言われました。私はすごくショックで、そういうものですかって言ったら、内申に影響するということをはっきり言われた。そうすると先ほどの議論の学校教育なのか社会教育なのかという部活のあり方というのが、改めて問われるのかなという気はしています。本当に大きなポイントになるだろうと思います。なかなか現職の先生は、コメントしにくいと思いますが、進学するとき参考にされるというのは、おそらく間違いのないところかなという気はしますけれども。</p>
委員	<p>部活動である程度のレベルの高い結果を残した子は書きますが、内申書に部活について書くところはありません。</p>
委員	<p>自己推薦とかで受験するときのアピールとして、活動っていうコンテンツから進んでいくのと、これを極めていきましたっていうのとでは、高校側の受け取り方が違うっていうことを、指導されている一部の先生もいらっしゃる。そういうところで、だったら部活動にはもう行かせませんというのは、実際にはあるとは思いますが。内申書からもう全くもってなくなっているのは、私も認知があるけれど、なくなっている分、不安に思うところがまだま</p>

	<p>だ存在しているとは感じる。</p> <p>うちの中学生が来年高校受験で、バレエでそれなりの成績を収めているので、日本の高校に進学するか、海外留学するかっていうのを、自分で考えているとこなんですけど、彼がやはり日本の高校も受けたいから、幽霊でも良いから部活は入っているというのをはっきり言っている。ただその部活はバレエの練習には邪魔だとはっきり言われた。先ほど言われていた小学校のときにスポーツ少年団ですごく上手だった子が、中学校に上がってくるから強くなると思ったら、その子は来ないっていうのは文化部でも山ほどある。そういうのが地域移行ってなっていったら、生徒たちが一番悩む問題で、大人は今運用を悩んでいますけど、子供は切実にその辺悩んでいるのかなと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。それではその他のところに移らせていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>《その他について説明 事務局：立石》</p>
議長	<p>何か今の点につきましてご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では以上をもちまして、本日の議題すべて終了予定させていただきます。</p> <p>どうも皆様ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第3回検討会を終了いたします。</p> <p>どうもありがとうございます。</p>